

セ ボ ネ

タガヤ
ランティア
ットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2023.01 No.225

今月のピックアップ

- 特集 P.2-5
音訳でくらしに喜びを
世田谷録音奉仕グループ『ひびき』の45年とこれから
- せたがやキラリ人 P.6
牧野 桂子さん
- レポート P.7

第6回ごきんじょ市を開催しました!



イラストレーター●

極楽フェスに参加して下さった
皆様



特集

音訳でくらしに喜びを 世田谷録音奉仕グループ『ひびき』の45年とこれから

写真左からボランティアの田中敦子さん、栗山樹子さん、寺西瑞紀さん、しもかわはるみさん、ひなた純子さん

挿絵も伝える音訳の奥深い世界

ひびきが発足したのは1978年のこと。梅丘を拠点に目の不自由な人たちのために書籍を音訳し、録音図書をつくり続けてきました。

「地域に根付いた活動をずっと続けてきていたので、近隣の利用者さんが『この本を読んでほしい』と連絡を下さることが多いんです。口コミで全国に広がって、今は青森、宮崎の方などにも利用していたでいます」

ボランティア歴25年というベテランの田中敦子さんにお話を聞くと、音訳の作業がいかに奥深いものかがわかります。

「音訳と朗読って、違うんです。基本的な考え方は、視覚障害者の目の代わりになるということなので、写真やイラストがあればそれも言葉にして音で伝えます。大切なのは、まずは正確であること。自分では完璧なつもりでも気づけ

ない部分はありますので、必ずチームを組んで校正を入れます。それから、とにかくはつきり聞かせること。正しい発声で、1時間、2時間続けて聞いていても苦にならないような、癖のない読み方を心がけます。棒読みは聞いていて辛いし、役者さんの朗読のようでも疲れてしまう。感情を入れすぎず、アナウンサーのように読めれば大丈夫です」

ただ文字を読むだけでなく、挿絵の描写も織り込むのが音訳。説明の仕方には正解がありません。本文との兼ね合いで、どうすれば内容が的確に伝わるかを判断するのも音訳者に求められる技術です。

利用者が将棋大会で優勝

ひびきの活動には二つの柱があり、一つは、『将棋世界』『みんなの健康』『古稀鶏俳句』『新聞』『はなしのこだま(※注)』の5つ

(※注) 新聞・雑誌の記事から今の世相を捉えたもの、随筆、小説などを組み合わせてまとめたひびきのオリジナル刊行物。



CDは全て布製の手作り封筒で、盲人用郵便の制度で利用者に送付されます。

の定期刊行物の音訳、もう一つは利用者の希望の書籍を音訳するプライベートサービスです。定期刊行物のうち、ひびきの名物といっても過言ではないのは雑誌『将棋世界』の音訳。将棋の本を音訳しているのは全国の音訳団体の中でもひびきだけなんだそう。昔、将棋好きの利用者さんがいたことがきっかけで現在まで受け継がれてきました。ボランティアの皆さん



CDの発送作業の様子（写真：ひびき提供）

は、棋譜の読み方にも慣れたものです。

ボランティア歴20年の栗山樹子さんは、利用者さんが出場するということで誘われ、2022年12月3日に開催された第44回全国視覚障害者将棋大会の応援に、他の会員とともに出席しました。

「皆さん、『将棋世界』を使って頭の中に将棋盤を置いて練習して、大会に臨むわけですね。真剣

な対局の様子や、結果を残されている様子を見ると、少しはお役に立てているのかな、と嬉しい気持ちになりました」

世田谷区内だと、中央図書館にも音訳グループがありますが、利用者と直接コミュニケーションをとることができるのは、地域に根ざした団体であるひびきの魅力です。また、栗山さんは笑いながらこんなエピソードも紹介してくれました。

「利用者の方に、『ご飯食べてから録音したでしょ。満腹だと声が変わるから、わかるよ』と言われたなんて話を聞いたことがあります。」

ちなみに、ずっと同じ声で読み続けるのは経験豊富な田中さん、栗山さんでも難しいこと。ボランティア会員は自宅で録音作業を行います。姿勢が変わったり、日にちが変わったりすると声も変わってしまうため、時間をやりくりしながら録音したものを後から



拠点である梅丘ボランティアビューローに並ぶ数々の機材

編集すると、ムラが出てしまうこともしばしば。修正を重ねながら、最終的な音源へと落とし込んでいきます。

利用者の好奇心に応える

現在、日本には音訳資料のネットワーク「サピエ」があり、全国の図書館や団体が連携して多くの

音訳資料を揃えています。ひびきの利用者から定期刊行物以外に『この本を読んでほしい』と声が寄せられると、すでにサピエに所蔵がある場合はそれを案内し、ない場合はプライベートサービスとして音訳します。現在、年間約50冊ほどのプライベートサービスを手掛けているのだとか。これらは専門性の高い書籍が多く、いつも利用者さんのこだわりを感じるそうです。

全10巻ある長編の依頼もあり、1巻の音訳で約17時間ほどかかるため数人がかりで担当しています。2021年からボランティアに参加している日向純子さんもその一員です。「海外の有名な古典で、すでに一度読んだことがあるけれど目が見えなくなつてからもまた読みたい、というご希望でした。ひびきに依頼されたのは、また違う訳者のバージョンなんだそうです」

利用者の細かなニーズに寄り添

えるのも、「あなたのためだけに読む」というプライベートサービスならではの。利用者の好奇心、それに応える会員がお互いに楽しみながら繋がり、活動が広がっています。日向さんと同時期に参画した下川晴子さんも次のように教えてくれました。

「聞いてくださる方に直接会えるのが本当に嬉しいんです。いつも聞いてますよ、と言われるとても励みになります。利用者さんは『読んでくださるだけで十分』なんて遠慮される方が多いんですが、技術はどんどん磨いていかなければと思います。私たちも、できなかつたことができるようになって楽しんでいますね」

これからも続く新しい挑戦

現在、ボランティア会員が35名、利用者が76名という規模で運営しているひびき。45周年を迎えた2021年、日向さん、下川さ



子どもたちのおはなしを届ける

牧野 桂子さん
まきの けいこ

や が た 人 キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します

取材●星野 弥生

に「よく聞けまし
たね、今回は北
ヨーロッパへいき
ます！」と優しく
声をかけます
牧野桂子さんは
このおはなしボラ
ンティア「おはな
し広場」の代表です。昔から本が
好きで家にはたくさんの本があり
ました。40年ほど前に、絵本の勉
強会のお知らせを区報で見つけて
参加。桂子さんは、3歳、6歳の
子どもの子育ての中で何かをした
いと、「絵本の奥深さを知り、他
の子とも達とも楽しみたいと思っ
たのです」。

世田谷中央図書館一階の奥にあ
るおはなしの部屋で毎月第三土曜
日の午後、「おはなし世界一周」
が開かれています。図書館にやっ
てきた親子連れ、小学生などが三
時からの始まりを待っています。
11月は南ヨーロッパを訪れ、今
年の世界一周の統一テーマである
スペイン、ポルトガル、フランス
の「おまつり」を紹介。それから
フランスの絵本「すてきな三にん
ぐみ」スペインの昔話の語り「た
からさがし」を楽しみ、手遊びを
し、最後はスペインの「はなのす
きなうし」の紙芝居。どんどん引
き込まれていく30分でした。おと
なしく聞いていた初参加の子ども

今では区内の図書館、児童館、
学校に働きかけ、絵本の読み聞か
せと語りを中心に「出前」してい
ます。以前は5つの小学校でも「お
はなし会」をしていましたが、コ
ロナ禍で時間が取れないという学
校が多くなったのは残念なことだ
です。

会員18人で、語りや子どもの本
の勉強会も続けていて、その時の
勉強がお話会の基礎になっています。
毎回お話会が終わると、今日
はどうだったかメンバーが話し合
いをし、次回に何をやるかを決め
ます。そのフィードバックが会の
財産になっていきます。

世田谷にはさまざまなグループ
が集う「世田谷おはなしネット
ワーク」があり、年に二回、情報
交換を兼ねた講演会を行い、夏休
みに三軒茶屋の生活工房で行われ
る「おはなしいっぱい」では、お
はなしボランティアが大集合して
3日間、それぞれのグループの特
長を生かした発表を行っていま
す。しかし、これもコロナの影響
でここ数年はオンラインの開催と
なっているそうです。

ほぼすべてに関わり、参加して
いる牧野さん、高校生の授業によ
ばれることもあり、絵本やお話を
通して活動の場はますます広がっ
ていきます。

第 6 回ごきんじょ市を開催しました！



11月20日（日）、第6回ごきんじょ市を3年ぶりに開催しました。地域や商店街の方々、約30名のボランティアの皆さんにご協力いただき、1000人以上の来場者を迎えることができました。

ごきんじょ市の「ごきんじょ」は、世田谷地域のなかでさまざまな活動をしている方の集まり。働いている人、暮らしている人、学んでいる人、ボランティアしている人など、皆さんを含みます。そんな皆さんが「活躍している場」「活動」を区民の方に知ってもらう場、みなさんがゆるりと集い知りあえる場として「ごきんじょ市」を毎年この時期に実施しています。

ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました！来年も、みなさんのお越しをお待ちしています。



かわいいピンクのれんが目印！
スタンプラリー企画をまわると
福引のガラポンができました。

わなげでポン！
みなさん豪華景品を狙って
チャレンジ！



学生ボランティア主体の企画
空き缶タワー！
何個まで積み重ねられるかな？



ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できる

のわからないという方は、ご相談ください。
電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生・高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探して紹介しています。

現在は、新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインでの学

習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっています。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高居・原口
TEL 5712・5101
takai@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

小東 小1男の子の遊び相手募集

小1の男の子と、祝日や平日放課後に遊んでくれるお兄さんボランティアを募集しています。お母さんは視覚障害を持っており、外に連れて行って遊んであげることができません。本当はキャッチボールやサッカーやスケートボードをしたいのに、家で一人で遊ぶことが多いため、お休みの日に近くの公園で一緒に遊んでくれるとうれしいです。元気なお兄さんの応募をお待ちしています！

(時間は要相談)

●場所／自宅(大蔵)に迎えに行き、そこから徒歩10分程度の砧公園 大蔵運動場など

●交通／二子玉川駅または成城学園前からバスで10分ほど

●条件／大学生の男性。男の子の自宅までの交通費支給

●問合せ／玉川ボランティアピュロー

TEL 3707・3528

tanabara@otagaisama.or.jp

●日時／平日15時以降以降、祝日

東 子どもたちの居場所づくりボランティア募集

放課後に地域の小学生が集まる居場所で、学習の見守りや遊び相手・話し相手になったり、会場の片付け等をしてくださる方を募集しています。この場所では、小学生への食事提供も行なっています。

●日時／祝日を除く毎週月・金曜日、14時半〜20時の間で1日4時間以上可能な方(1か月の参加回数は応相談)

●場所／上北沢近辺の居場所会場

●交通／上北沢駅

●条件／大学生以上の男性で体力があり、子どもと関わった経験があり、長期活動ができる方。交通費込み1500円/日支給

●問合せ／梅丘ボランティアピュロー 担当 石川

TEL 3420・2520

umebora@otagaisama.or.jp

小

高1女子の学習支援ボランティア募集

通信制高校1年生の女の子に寄り添いながら一緒に課題提出(特に数学と英語)に取り組んでくれる女性を探しています。ダンスやサッカーが好きな活発な女の子です。ときにはおしゃべりも楽しみなが、かわってもらえるとうれしです。詳しくはお問合せください。

●日時/月・火・水・金のいずれ

か10時〜17時の時間帯で2時間程度(回数・頻度は応相談)
●場所/祖師ヶ谷大蔵駅周辺のフリースペースなど
●交通/祖師ヶ谷大蔵駅近辺
●条件/大学生以上の女性
●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 原口
TEL 5712・5101
haraguchi@otagaissama.or.jp

東

自宅最寄り駅から後楽園駅までの登下校に付き添ってくださる方募集

世田谷区内在住の知的障害のある女の子が、自宅最寄り駅(田園都市線の駅)から後楽園駅近くの学校までの登校または下校に付き添ってくださる方を必要としています。

女の子は、高校2年生で大人しい性格です。電車での移動には慣れており、乗り換える駅や路線などは理解しているので、基本的に彼女が移動するのを側で見守っていただくさい。詳しくはお問合せください。

●日時/

(登校) 水・自宅最寄り駅 7時40分ごろ待ち合わせ、9時ごろ学校着
(下校) 水、金・17時に学校前にお迎え、18時ごろ自宅最寄り駅着
●場所/自宅最寄り駅(田園都市線の駅)と後楽園駅近くの学校の間
●条件/女性、交通費支給
●問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tamabor@otagaissama.or.jp

世

グループホームからバス停までの送り迎え

松陰神社駅前のグループホーム、ガーデン藍から徒歩5分のバス停までの送り迎えをしてくださる方を募集しております。朝、8時半にお迎えにきていただき8時45分にバスに乗せるまでをしていただきたいと思っています。夕方は4時にバス停に行きグループホームまで連れて帰っていただきます。午前の部だけでも結構です。ご近所の方でいらっしゃいましたらありがたいです。よろしくお願

い致します。

●日時/月・金曜までの8時半〜8時45分
●場所/松陰神社駅前のガーデン藍1から区役所方面に5分
●条件/時間通り来てくださる方
●問合せ/社会福祉法人 藍ガーデン 藍一・II 担当 門馬
TEL 6453・1980
garden-ai@aikobo.or.jp
https://www.aikobo.or.jp

有償スタッフ募集

東

家事をサポートしてくれる女性募集

東玉川にお住まいの目の不自由な80代の女性が、家事をサポートしてくれる方を探しています。お野菜を切ったり洋服をたたむ、ネットでのお買い物など一緒にお手伝いしてくださると助かります。活動日と時間は相談して決めたいと思います(1回2時間程度)。女性の方のご応募お待ちしております。

●日時/月・土(時間は要相談)
●場所/東玉川の自宅
●交通/田園調布駅徒歩15分
●条件/1000円/1時間(緊急介護人の登録)
●問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tamabor@otagaissama.or.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

講座・その他・募集

小 2022年度防災シンポジウム 「子どもたちと災害」

世田谷ボランティア協会が主催する防災シンポジウム。今年度は、災害時の子どもの変化をテーマに、専門家や被災経験者と共に、災害時に子ども達が抱える課題や必要な対策について考えます。

●日時／1月14日（土） 13時30分～15時30分

●会場／成城ホール（世田谷区成城6・2・1）

●交通／成城学園前駅徒歩3分

●参加費／無料

●定員／先着150名

●申込／せたがや災害ボランティアアSENターHP内の専用フォー

小 もつと語ろう不登校 Part 274

これまで27年にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／1月14日（土） 14時～
●場所／NPOフリースクール僕



ム、またはメールが電話にてお申し込みください。

●問合せ／せたがや災害ボランティアアSENター

TEL 5712・5101
saigai-info@otagaishama.or.jp

んち（代田4・32・17）またはZOOM会議にて

●交通／梅ヶ丘駅徒歩10分

●条件／事前申し込み制

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もつと語ろう不登校」担当 高橋

090・3905・8124
fsbtou@yahoo.co.jp

京 災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編） @日本女子体育大学

本年度4回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座基礎編」を日本女子体育大学にて開催します！内容は講義・模擬訓練、世田谷区の災害対策、災害ボランティアの活動内容（世田谷方式）等を学びます。

●日時／1月21日（土） 13時30分～16時30分※13時より受付開始

●会場／日本女子体育大学 本館E101（世田谷区北烏山8・19・1）

●交通／千歳烏山駅からバス「日本女子体育大学前」下車すぐ

●参加費／無料

●申込／せたがや災害ボランティア

Aーシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」というボランティア活動をしたい方の経験や意欲など、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAーシステムによるマッチングサイト（世田谷版GBER）で結び付け、ボランティア活動を支援します。

詳細は左記QRコードからご覧ください。



アSENターHP内の専用フォーム、またはメールが電話にてお申し込みください。

●問合せ／せたがや災害ボランティアアSENター

TEL 5712・5101
saigai-info@otagaishama.or.jp



『せたがやチャイルドライン特別講演会2023』 『からだを道具にして聴く』わたし全体がグリーフする〜

皆さんは子どもの話をいつもどのように聞いていますか？『子どもの話を聴く』とは、私たちチャイルドラインがいつも行っていることです。子どもが、とても難しいことだと感じます。子どもの言葉をどのように聴いたらいいのかわからない。そのヒントになるお話を伊藤先生にお伺いする機会を設けました。皆さんの周りの人とのコミュニケーションの取り方にもとても役立つお話しになりますので、奮ってご参加ください。

- 定員／①70名②30名
- 参加費／1000円
- 申込み／①QRコード②電話
- 問合せ／せたがやチャイルドライン事務局 担当 小畑・高居
- TEL 5712・5101
- childline@otagaisama.or.jp
- 日時／1月28日(土) 13時半～15時半
- 会場／①Zoom②世田谷ボランティアセンター

4月から梅丘ボランティアビュローの名称が変わります

世田谷ボランティア協会は、地域に根ざしたボランティア活動が、つながりを生かした地域づくり、安心して暮らしていけるまちづくりの実現につながるよう、その活動拠点としてボランティアビュローを設置してきました。



12月から現在の梅丘ボランティアビュローを北沢地域の活動拠点とし、2023年4月から、『北沢ボランティアビュロー』に名称を変更いたします。住所や電話番号に変更はありません。引き続きよろしくお願いいたします。

せたがやチャイルドライン寄付・ご支援のお願い

①寄付・ご支援のお願い

せたがやチャイルドラインは、18歳までの子どものための電話です。電話を受けるのは研修を受けたボランティアです。

バザーや手づくり品の販売などで活動資金の一部を調達していますが、イベントの中止などにより、活動資金を確保することが難しくなっています。子どもをささえる活動を支援するため、ご寄付の協力をお願いいたします。

●郵便振替口座にお願いします。

●口座番号／

00150・8・279963

●加入者名／社会福祉法人世田谷ボランティア協会

※この口座への寄付は所得税の寄付金控除の対象にはなりません。

通信欄に「寄付申込書せたがやチャイルドライン」とご記入ください。

②講義集の販売

受け手講座の内容をまとめた講義集『子どもに育ててもらったおとなたち』をメールでご注文いただけます。この講義集は受け手養成講座のテキストでもあり、せたがやチャイルドラインが大切にしている「子どもへのまなざし」がぎゅっと一冊にまとめられています。受け手講座に関心のある方や、子どもとのかかわりに悩む大人の方にもぜひ読んでいただきたい内容となっています。

●価格／1冊1000円(税込)。

●支払いは後日お振込みとなります。(別途送料)

●注文方法／郵送ご希望の方は「名前・送付先住所・電話番号・冊数」をご記入のうえ、メールでお申し込みください。

●問合せ／せたがやチャイルドライン事務局 担当 小畑・高居

TEL 5712・5101

childline@otagaisama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854 ※1
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った！」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ！

◆センター＆ビューローより

※1 4月から梅丘ボランティアビューローは北沢ボランティアビューローに名称が変更になります。住所や電話番号は変わりません。よろしくお願い致します。

◆ふらっと& with より

「新春を迎え、ケアセンターふらっと一同、マスク越しではありますが…宜しくお願いいたします」
今年も、沢山の方々と出逢える1年を楽しみにしております。どうぞふらっとにお立ち寄りください。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます！ 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

◆チャイルドラインより

2023年1月28日(土)に、せたがやチャイルドライン特別講演会を開催します。詳しくはP.11に詳細があります。皆様のご参加お待ちしております！

編集後記

- 明けましておめでとうございます。2023年もどうぞよろしくお願い致します！
- 2023年最初の特集は、『ひびき』さんです。10年ほど前にまちの市民力でご紹介しましたが、45年の活動とこれからを改めて取材させて頂きました。ぜひ特集ページをご覧ください。
- 昨年の目標は「イラストを描けるようになる」としましたが、やはり苦手なものは上手いはず…今年は得意なことをさらに磨いていきます！(近藤)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

